

「地域・流域プログラム」 履修の利点

環境保全関連の企業やNPOへの就職を希望する学生にとって意義があることはもちろん、企業の環境貢献活動が重視されつつある現状にあっては、広く社会的な評価を得られる履修プログラムです。

「流域環境士」は、教員免許や司書資格などと違い、国家資格ではありませんが、関連科目の体系的な履修とレポート提出で得られる証明書ですので、積極的に履修してください。

「地域・流域プログラム」 申請手続きの流れ

2026年
4月

「プログラム申請書」および
「プログラム履修状況表」を提出
提出先：地域・流域共生フォーラム
(G棟307室)
または企画課(A棟4階)

2027年
2月

レポートを提出
提出先：企画課(A棟4階)

2027年
5月

「プログラム履修証明証」発行
「流域環境士」の資格取得
(4年次生は卒業時に渡します。)

和光大学の学生は学部学科を問わず、
このプログラムを履修し「流域環境士」になれます。

「教育GP」とは

「優れた取組」を表す「Good Practice」の頭文字をとったもので、文部科学省による「質の高い大学教育推進プログラム」のことを通称「教育GP」と言います。

教育GPIは平成20年度応募件数939件(488校)から148件(120校)が採択され、私立大学で採択されたのは、和光大学を含め全国で42大学だけです。

和光大学が採択されたものは「流域主義による地域貢献と環境教育」で都市における自然と人の共生をめざした足もとからの環境教育プロジェクトです。「地域・流域プログラム」はその主な柱となるものです。

「地域・流域プログラム」とは

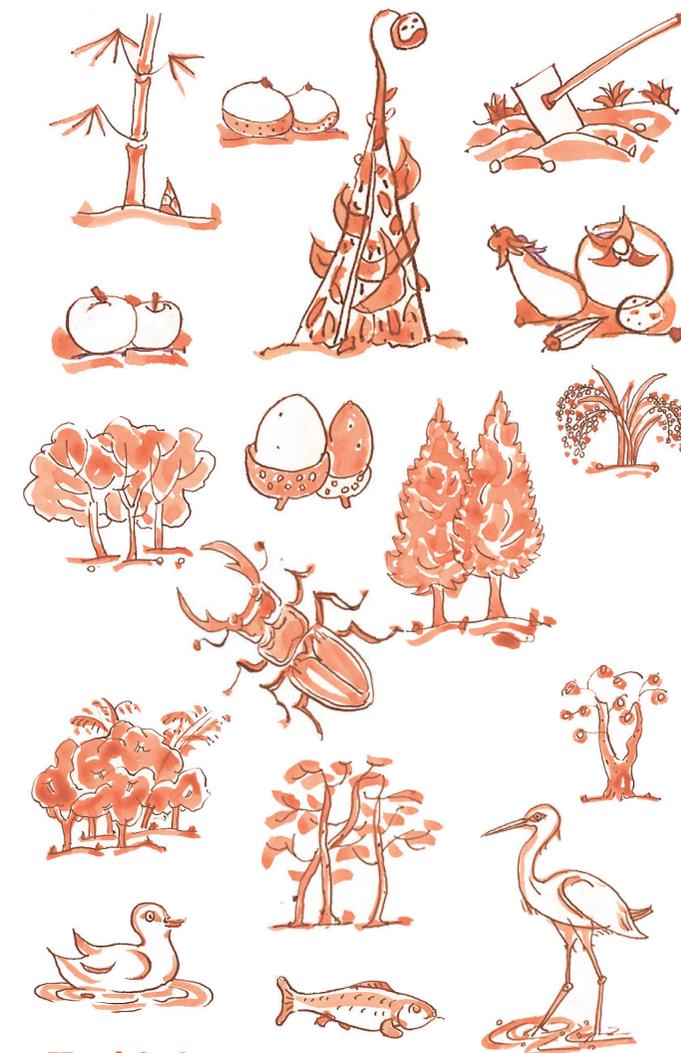
理論講義科目と実践型講義科目で構成され鶴見川を中心とした地域・流域に広がる豊かな自然環境にふれながら、環境に関わる学問を体系的に学び、都市型環境保全の理論とスキルを身につけてもらうことを願って、始まった大学認定資格です。

このプログラムは、卒業要件とは関係ありませんが、申請手続きをした上で、所定の科目を履修し、レポートを提出した者に対し、「プログラム履修証明証」を発行し、「流域環境士」の資格を与えます。

「地域・流域プログラム」を体系的に履修することにより、登録者自身の自主的な学習、活動が期待されています。



地域・流域プログラム 2026 Bioregional Studies Program



問い合わせ

地域連携研究センター 地域・流域共生フォーラム
G棟3階307室

tel: 044-949-0003

mail: centr@wako.ac.jp

〒195-8585
東京都町田市金井ヶ丘5-1-1

企画課 tel: 044-988-1433

 **和光大学**



\HPはこちら/\





「地域・流域プログラム」の履修に必要な科目と単位数

★2026年度休講となっている科目等もありますので、詳細は学修の手びきで確認してください。

修了要件は **20 単位 (コア科目 1+2+3+自由選択科目)+レポート** です。

科目区分	科目名	科目分類	単位数
コア科目 1 基幹講義科目 (4 単位)	流域を知る	共通教養科目	2
	地域流域社会論	人間科学科専門科目	2
	地域流域政策論	人間科学科専門科目	2
コア科目 2 理論講義科目 (4 単位)	科学技術の営みと世界観	共通教養科目	2
	フィールドで学ぶ足もとの自然 ※3	共通教養科目	2
	里山保全の理論	共通教養科目	2
	生物の多様性 A	共通教養科目	2
	生物の多様性 B	共通教養科目	2
	環境教育論	心理教育学科専門科目	2
	環境社会学	人間科学科・現代社会学科専門科目	2
	環境とまちづくり	人間科学科専門科目	2
	衛生学	人間科学科専門科目	2
	生態学	現代人間学部共通科目	2
コア科目 3 実践型講義科目 (6 単位)	環境思想論	現代人間学部共通科目	2
	地域デザイン A	共通教養科目	2
	地域デザイン B	共通教養科目	2
	フィールドで学ぶ地域社会 I	共通教養科目	2
	フィールドで学ぶ地域社会 II	共通教養科目	3
	里山保全の実践	共通教養科目	2
	フィールドで学ぶ足もとの自然 ※3	共通教養科目	2
	フィールドワーク (地球環境 1)	人間科学科専門科目	2
	フィールドワーク (地球環境 2)	人間科学科専門科目	4
	野菜づくり入門	人間科学科専門科目	4
		地域・流域の保全ボランティア活動※1、あるいは本フォーラムが認めた資格講習会※2を受講するなど、一定の条件を満たせばコア科目 3 として 4 単位まで代替可能。単位数は活動・受講時間による。	

自由選択科目 (6 単位以上) 上記科目を含む全学の開講科目の中から、本プログラムに関係するとあなたが自主的に判断する科目を選定する。上の表にない科目については、本プログラムに意義があるという自分なりの選択理由書を提出すること。(様式自由)

環境調査・レポート 地域・流域共生フォーラムの環境調査に参加し、レポートを提出する。(形式自由。調査・感想・提言の小見出しをつけ、1600 字以上とする。)

- ※ 1 ボランティア活動は参加報告を地域・流域共生フォーラム会議が審査します。代替認定条件の詳細はフォーラムまたは企画課にお問い合わせください。なお卒業要件等、本プログラム以外の単位としては認められません。詳細はフォーラムまたは企画課にお問い合わせください。
- ※ 2 地域・流域共生フォーラムが認めた資格講習会には、以下のものがあります。
- ※ 3 2023 年度までの修得はコア科目 2、2024 年度以降の修得はコア科目 3 に含める。

資格講習会一覧	資格講座名	取得資格	換算単位数
	チェーンソー・刈払機安全講習会	チェーンソー・刈払機安全講習会修了者	1
	RAC (川に学ぶ体験活動) リーダー資格	RAC リーダー	3
	プロジェクト WET/WILD エducator 資格	プロジェクト WET/WILD エducator	1/1
	地域環境リーダー育成講座 (基礎編) / (実践編) (川崎市が主催する学外講習です)	地域環境リーダー修了証	2/2

「環境調査」「資格講習会一覧」の詳細は、次のページ >>>

資格講習会について

● チェーンソー・刈払機安全講習会

学内での草刈りや間伐活動をするため、チェーンソーと刈払機を安全に使用するための講習会です。初めて触れる機械だと思えますが、専門の講師による講習を学内で開催します。里山に隣接した和光大学ならではの講習会です。

● RAC リーダー資格

川で安全に楽しく活動するためには、川の危険性を理解し、伝えることが必要です。この資格講習会では、そのような「川の指導者」を養成します。

次のような技術・知識を習得します。

- ・ 川に入る際の服装や準備 (ライフジャケットの身につけ方、持ち物、活動場所の情報収集など)
- ・ 川で遊ぶ際のマナーや注意事項
- ・ 救助と応急処置 (溺れた人を救助するスローロープの投げ方、心肺蘇生法 AED の使い方)

● プロジェクト WILD エducator 資格

自然や環境のために行動できる人を育てることを目的に、幼稚園児から高校生を対象に行う環境教育プログラムです。この資格講習会では、「レクリエーションを運営する側」としての指導方法を身につけます。

具体的には、大学敷地内でのミニゲームや野山でのあそびを通じて、野生動物や自然環境に関心を持ってもらえる指導方法を学びます。

● プロジェクト WET エducator 資格

世界 66 以上の国と地域で活用されている、子どもたちに主体的・対話的な深い学びを促す水の教育プログラムです。この資格講習会では、この「水の教育プログラム」の指導者としての力を身につけます。アクティビティや子どもへの指導方法を学ぶだけでなく、水について学び、レクリエーションを運営する力を磨きます。

環境調査について

プログラム修了には環境調査への参加とレポートの提出が必要です。都市近郊の里山に立地している和光大学の特徴として、希少な植物が大学の裏山やキャンパス内に自生しています。地域・流域プログラム科目を体系的に学び、環境調査に参加することで、身近にある自然を体感してください。環境調査は、本学の自然環境を熟知した教員と地域・流域共生フォーラムの職員が引率します。